

新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症の状況に応じた東北公益文科大学の活動指針(令和5年6月1日～)

本学では、学生に対して中断なく教育サービスを提供するとともに、学生が少しでも不安なく大学生活を送れるような環境を提供することを目指しています。

そのために、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染状況に応じてスムーズに対応内容を移行できるよう、「活動指針」を下記のように設定します。

フェーズ	定義 (・は例)	授業	学生の学内施設利用					実習	課外活動	学外者の立入り/ 学内者主催イベント 等
			教育研究棟	カフェテリア	図書館	新世紀館 2F	体育館			
D	緊急事態 ・ 感染者が膨大になり、社会インフラの維持に支障が生じる可能性がある	全てオンライン授業	学修環境のない者が授業時間のみ指定の教室を利用可 ※入校時の検温必要	食事目的のみ可(80席) ※学内者のみ ※仕切り設置	利用不可	利用不可	利用不可	派遣しない	活動停止	学内立入禁止(本部棟・大学院センター棟は可)/ イベント不可
C	人の往来等について自粛要請がある状態 ・ 感染者が多数発生し、業務継続が困難な事業者も発生する	各学年1科目(+情報リテラシー)のみ対面授業 ・ 1年生:基礎演習 ・ 2年生:基礎プログラミング ・ 3年生:専門演習Ⅰ ・ 4年生:専門演習Ⅱ ・ 対面授業の前後の科目も対面で受講	対面授業の受講時のみ可 アドバイザーとの面談は予約の上、短時間で実施 コピーのための共同研究室利用は可 ※入校時の検温必要 ※換気指示の鳴動等	同上	貸出・レファレンス対応のみ 長期滞在不可(椅子撤去) 時間短縮、土日休館	同上	感染防止に配慮して利用可	原則として派遣しない	感染防止に配慮して活動可	同上
B	イベントや施設利用等について自粛要請がある状態 ・ 感染者が急激に増え始め、業務継続に支障が出る事業者が出始める	・ 授業科目の50%を対面で実施(入構者を50%に制限) ※対面科目は同時刻に行われる科目の履修者数等を踏まえ決定(目安:履修者16人以下)	共同研究室、情報教室は教職員の監督下で利用可 ラーモンズは9-17時利用可 ※入構時の検温必要 ※換気指示の鳴動等	食事目的のみ可(160席) ※学内者のみ ※仕切り設置	学生、教職員限定で通常利用可 時間短縮、土日休館	通常利用(座席数減) 部室は荷物の取り出しのみ可(部室内での活動不可)	同上	派遣先との調整の上、感染防止に配慮し派遣可	同上	原則、同上。ただし、学内者主催行事等の参加者等は立入可 / イベント可 ※開催方法等について事前の協議が必要
A	感染への注意が必要な状態 ・ 感染者が増加し、国や自治体から注意等が発出される	全ての授業科目を対面で実施 ・ 事情によってはオンラインでの授業の実施も可とする	共同研究室、情報教室、ラーモンズの利用可 課外活動による教室利用可 ※入校時の検温必要 ※換気指示の鳴動等	食事以外も利用可(160席) ※学内者のみ ※仕切り設置	通常開館(学外者利用可) 感染防止に配慮	通常利用	同上	同上	同上	学外者の立入は同上 / イベント可
0	平常時 ・ 感染は確認されているが社会生活に大きな影響がない	通常通り(基本的な感染対策を意識する。なお、マスクの着用などの対応は、個々の判断に委ねることとする。)								

※ 新型コロナウイルス及びインフルエンザの感染が確認された場合は、「発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで(発症した日から6日間)」通学をしないこと。

※ 太枠は、現在のレベルを示しています。なお、本学の新型コロナウイルス感染症対策本部において、状況に応じて見直しを行います。